

令和4年度第2回庄原市道徳教育推進委員会研修会

- 日時：令和5年1月27日（金） 13：10～16：35
- 場所：庄原市立総領小学校，総領自治振興センター
- 対象者：庄原市内各小・中学校の道徳教育推進教師22名

目的

- ・児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」につなぐ道徳科の授業づくりのポイントについて研修を行い，具体的な指導方法を学ぶ。
- ・学校全体での組織的な道徳教育推進に向け，各校の取組について交流することを通して，次年度の計画の見直しをもつ。

研究授業 「ブラッドレーのせいきゅう書」

授業者 総領小学校 教諭 中井 阿弥

事後協議・講話 「道徳科の充実に向けた授業の在り方について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 砂走 敏和



「家族」について説明している様子



「深い学び」の鍵となる場面を協議している様子

【講話・演習の概要】

- 事後協議では，「『深い学び』の鍵となる場面」「『深い学び』を促した授業展開等の工夫」の視点について，児童の発言内容をもとに協議を行った。
- 「深い学び」の鍵となる場面について，教材・読解レベルの問いから，道徳的価値レベルの問いを投げかけることにより，考え議論する道徳の授業づくりとなることを確認した。
- 授業展開の工夫については，学ぶ必然性をもたせた導入の工夫，思考を促すための手立てや構造的な板書による思考の可視化が図られていた。

【参加者から】

- ・ 中心発問までテンポよく進み，そこから（深い学びの鍵となる場面）をしっかりと話し合わせる展開は参考になった。
- ・ 児童が積極的に発言し，しっかり考えており，素敵な授業だった。
- ・ 繰り返し・問い返しの発問を工夫することにより，道徳的価値を深めることができることが分かった。また，思考を促す手立てを工夫し，構造的な板書を意識していきたい。

実践交流及び指導・助言 「今年度の取組と次年度に向けて」

広島県北部教育事務所 指導主事 田丸 亜紀



各校が作成した全体計画をもとに取組について見直しをしている様子



【実践交流及び指導・助言の概要】

- 第1回研修会で作成した活動計画をもとに，今年度各校が実施した道徳教育に係る実践を交流した。各校が実践した内容と推進教師が行うべき8つの役割とを整理し，次年度に取り組むべき内容について協議した。

【参加者から】

- ・ 来年度の重点項目の見直しの際に，「子供たちの強みを生かす」という視点を入れることも取り入れてみようと思う。
- ・ 保護者に道徳の授業を体験してもらう実践が参考になった。
- ・ 交流を通して，計画的に道徳教育を推進していくことへのイメージをはっきりもつことができた。